

高齢者虐待を防ぐために

## 介護のこと、一人で背負っていませんか？

高齢者虐待は年々増加しており、2017 年度に全国の市町村で受け付けた養護者による高齢者虐待に関する相談・通報件数は 30,040 件で過去最多となっています。

また、虐待を受けた高齢者の約 7 割が要介護状態であり、そのうち約 7 割に認知症の症状がみられるとの調査結果が出ています。介護、特に認知症介護の負担が、虐待と大きく関わっていると考えられます。

高齢者虐待と聞くと、自分とは関係のない特別なことと思われるかもしれませんが、しかし、高齢者の介護や認知症の方の介護は、当事者になってみないとわからない苦勞がたくさんあります。

介護疲れやストレスから、思いがけず虐待につながってしまうということも少なくありません。



## 自覚がないままに虐待をしてしまうことも…

虐待をしてしまっている当事者は、自分が虐待をしているという自覚がないことが多いものです。

気付かず不適切な対応になりやすい事例について、右の表を見て確認してみましょう。

### 高齢者への不適切な対応の例

- 言ったようにできないので、つい手が出たり、怒鳴ったりしてしまう。
- 良いことと悪いことを分かってもらうために、たたいたりしている。
- 高齢者が話しかけても、無視してしまう。
- 認知症により徘徊するので、部屋から出さないようにしている。
- 経済的に苦しいので、病院に連れて行くことを制限している。
- 年金手帳、預金通帳などを管理し、本人に無断で使っている。



# 介護は一人で抱え込まないで

高齢者虐待は、介護者の負担を軽くすることで防ぐことができます。

## ◎介護者の方へ ～介護負担を軽くするために～

### 専門機関に相談

介護の悩みなどがあれば、  
下呂市地域包括支援センターや、  
担当のケアマネジャーに  
相談してみましょう。

### 介護仲間との交流

認知症カフェなどに参加すること  
で、同じように介護の悩みをもつ介  
護者との交流や、介護のポイントな  
ど役立つ情報が得られます。



### 周囲の協力

家族、親族、ご近所や知り合いの方  
などに協力を求めてみましょう。  
話を聞いてもらうことで気持ちを  
軽くすることもできます。

### サービスの活用

介護保険や福祉の  
サービスなどを利用して  
介護負担を減らしましょう。

## ◎地域の方へ ～地域ぐるみで高齢者と介護者を支える～

### 日常的な声かけ

日常的にあいさつを  
かわしましょう。高齢者や介護者に  
元気がないようなときは、  
率先して声を  
かけましょう。

### 見守り

最近姿を見ない、怒鳴り声や  
泣き声が聞こえる、介護が大変  
そうなのに、サービスを利用して  
いる様子がないなど、気になる  
ことがないか見守りましょう。

### 相談をすすめる

介護に負担を感じている人が  
いたら、労をねぎらい、  
下呂市地域包括支援センター  
などへの相談をすすめましょう。



### 地域の支援者となる

認知症に関する正しい知識と理解を  
持ち、地域や職場で、認知症の人や  
介護者に対してできる範囲で手助け  
をする認知症サポーターとなり、地  
域の支援者となりましょう。

気がかりなことがありましたら、下呂市地域包括支援センターにご相談ください

介護のこと、高齢者虐待に関するお悩み・ご相談・お問い合わせ

◎下呂市地域包括支援センター（星雲会館1階） ☎53-2100

◎金山支所（金山振興事務所1階） ☎32-3320